

Complex Cardiovascular Therapeutics 2013

CCT2013

Co-medical

会期

2013年10月17日(木)・18日(金)・19日(土)

会場


神戸国際展示場


| CCT Website |
<http://cct.gr.jp/>


Language

The **English** language shall be the official language of CCT.
Simultaneous interpretation is available (English and Japanese):
Themed Theater, Room 6, Room 8, Peripheral Theater
Simultaneous interpretation is available (English, Japanese and
Chinese): Coronary Theater, Room 3

※Except sponsored sessions

 English translation available

 Japanese translation available

 Chinese translation available

 Japanese only

Registration Fee

Medical	3Days	JPY 30,000
Medical	1Day	JPY 15,000
Medical(intern)*	3Days	JPY 10,000
Co-medical	3Days	JPY 3,000
Industrial Professional	3Days	JPY 30,000

* Medical(intern) is required to present certification showing they are currently in the internship (4 years period) after graduation from medical school. Failure to do this will be charged the on-site registration fee of Medical. Pre-registration is not required.

**A student can attend the live course free of charge. Please present your student ID or equivalent documents at the on-site registration desk. Pre-registration is not required.

Notification

No smoking on all site.

No photography and video shooting without permission.

Food and Beverages

Coffee service will be offered at Kobe International Exhibition Hall 1, 1F and Hall 3 (Service time is limited)

Light meals will be served before morning session and fireside session.

Lunch boxes will be served before luncheon seminar.

Secretariat

On-site secretariat (October 17-19 only)

Kobe International Exhibition Hall 2, 1F

Tel: +81-(0)78-303-4007 / +81-(0)78-303-4008

Fax: +81-(0)78-303-4009

Opening Hours

Registration

For Medical and Industrial Professional
Kobe International Exhibition Hall 2, 1F

For Co-medical

Kobe International Exhibition Hall 2, 2F

Oct. 17 7:30 - 18:00

Oct. 18 7:15 - 18:00

Oct. 19 7:15 - 15:00

Exhibition

Kobe International Exhibition Hall 1, 1F

Oct. 17, 18 9:00 - 18:00

Oct. 19 9:00 - 15:00

Kobe International Exhibition Hall 3 (Peripheral Exhibition)

Oct. 17, 18 9:00 - 18:00

Oct. 19 9:00 - 12:00

Faculty Registration

Kobe International Exhibition Hall 1, 1F

Oct. 17 7:30 - 18:00

Oct. 18 7:15 - 18:00

Oct. 19 7:15 - 15:00

Free Wi-Fi Spots

Coronary Theater, Themed Theater, Peripheral Theater
Exhibition, Kobe International Exhibition Hall 1, 1F
Exhibition, Kobe International Exhibition Hall 3, 1F

Activity



AMEX Club: CCT Fun Run 2013

Date: Friday, October 18

7:00a.m.-8:00a.m.

Site: Kobe PortIsland

Meeting Point:

The lobby, 1F, Kobe Portopia Hotel

You're invited to participate in the CCT
Fun Run.

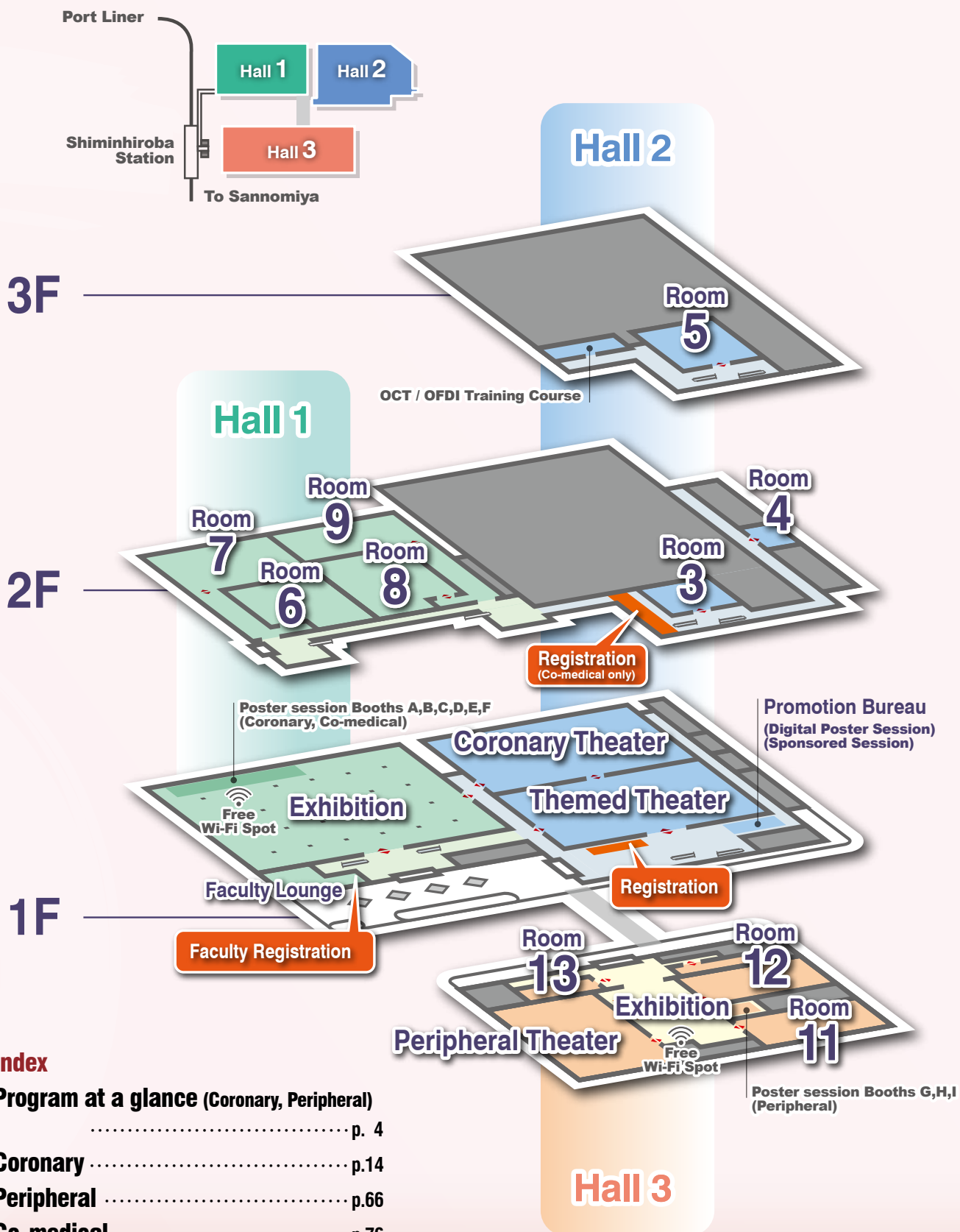
Enjoy the 5km course through Kobe PortIsland. Let's jog while enjoying beautiful scenery of Kobe and receive an event T-shirt. This fun themed running event is the perfect balance for both new and seasoned runners.

Please gather in the lobby in the first floor at the Kobe Portopia Hotel.

No entry fee and registration required.

*Toshiyuki Matsumura
The President of AMEX Club*

Kobe International Exhibition Hall



Index

Program at a glance (Coronary, Peripheral)	p. 4
Coronary	p.14
Peripheral	p.66
Co-medical	p.76
Hands-on and Training Center	p.89
Exhibition	p.98

Course Directors

稲田 毅
岐阜ハートセンター

佐野 始也
高瀬クリニック

穴戸 尚美
草津ハートセンター

島袋 朋子
湘南鎌倉総合病院

添田 信之
星総合病院

辻井 正人
三重ハートセンター

永井 美枝子
済生会横浜市東部病院

鯨井 秀之
大手前病院

納口 英次
心臓血管研究所付属病院

平田 和也
北海道社会保険病院

山口 敏和
名古屋ハートセンター

Japanese Faculty

蓬原 永盛
大手前病院

赤松 俊二
滋賀県立成人病センター

浅井 優子
名古屋ハートセンター

浅岡 伸光
八尾市立病院

穴井 達弥
市立枚方市民病院

池田 秀
東海大学医学部付属病院

磯谷 朋樹
小田原循環器病院

石川 芳枝
星総合病院

伊藤 明子
豊橋ハートセンター

宇井 雄一
岡崎市民病院

上田 祐二
今里ハートクリニック

梅田 知子
名古屋ハートセンター

大久保 宗則
岐阜ハートセンター

大沢 千春
横浜新都市脳神経外科病院

太田 悦雄
永井病院

大竹 陸希光
国立循環器病研究センター

大築 理和
岐阜ハートセンター

岡田 忠久
京都桂病院

鍵谷 文彦
東京医科大学八王子医療センター

川瀬 佳希
大阪府立急性期・総合医療センター

川村 克年
桜橋渡辺病院

河原田 修身
国立循環器病研究センター

菊地 康昭
星総合病院

木下 博子
岸和田徳州会病院

木下 昌樹
岡崎市民病院

國井 由花
会津中央病院

小坂 浩之
東住吉森本病院

小林 俊博
岐阜ハートセンター

小林 由実
新川橋病院

小味 昌憲
熊本大学医学部附属病院

小森田 翔
心臓病センター榊原病院

近藤 武
高瀬クリニック

齊藤 清美
湘南鎌倉総合病院

佐々木 康二
札幌心臓血管クリニック

佐藤 英幸
江戸川病院

椎原 大介
東京警察病院

塩田 裕啓
洛和会丸太町病院

篠原 裕
湘南鎌倉総合病院

渋谷 徹
昭和大学病院

清水 速人
倉敷中央病院

高橋 美重子
高瀬クリニック

滝村 英幸
済生会横浜市東部病院

武田 和也
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院

武山 洋子
一宮市立市民病院

谷岡 怜
神戸大学医学部附属病院

玉澤 充
北光記念病院

寺澤 史明
製鉄記念室蘭病院

堂領 和彦
順天堂大学医学部附属練馬病院

徳永 洋二
桜橋渡辺病院

富田 紀雄
仙台厚生病院

中川 透
金沢医科大学病院

永澤 直樹
三重大学医学部附属病院

中西 基修
草津ハートセンター

中村 可奈
三重ハートセンター

中村 康雄
麻生総合病院

中山 一夫
新東京病院

二井 雅江
横浜栄共済病院

西尾 一希
大手前病院

西岡 宏
国立循環器病研究センター

野崎 暢仁
高の原中央病院

橋本 潤一
太田総合病院附属太田西ノ内病院

長谷川 由美子
岐阜ハートセンター

藤沢 康雄
大阪警察病院

藤田 光広
公立阿伎留医療センター

藤野 絹代
聖マリアンナ医科大学病院

本多 貴士
大阪警察病院

Course Objectives

2013年のCCTコメディカルは“基礎の再確認と新しい技術の啓蒙”と題して“温故知新”を皆様に体験していただきたいと思います。

やはり基礎学問はすべてにおいてとても大切な分野で欠かすことはできません。基礎学問をベースとして世の中がどのように変わってきたか、歴史的背景を含め30年強の時間軸を体験できるようなセッションを行いたいと考えます。すべての流れの中で理由を把握し話していただき、皆様の疑問が少しでも払拭されるような会にしたいと考えます。また新しい技術も開発されてきており、その内容についてのセッションも考えております。

例年通りコメディカルライブ、ハンズオンセミナーも行なう予定です。多職種の集まれるフレンドリーな会を目指しますので、皆様奮ってご参加いただけますようよろしくお願い致します。

International Faculty

Bong Su Kim
Catholic University of Korea, Incheon St. Mary's
Hospital Cardio Vascular Center, Korea

Soo Hwan Park
Chonnam National University Hospital, Korea

(Alphabetical order)

松本 一真
兵庫医科大学病院

三木 俊
東北大学病院

水野 奈津己
新東京病院

水戸 武史
真面目市立病院

峯澤 忍
豊橋ハートセンター

宮本 亜紀
桜橋渡辺病院

宮本 秋生
札幌心臓血管クリニック

向井 亮太郎
耳原総合病院

八鍬 恒芳
東邦大学医療センター大森病院

保田 彰
仙台厚生病院

保山 悦子
杏林大学付属病院

柳川 康洋
大阪大学医学部附属病院

山木 英樹
三重ハートセンター

山口 隆義
北海道社会保険病院

山田 浩司
近畿大学付属病院

與座 宏之
藤沢市民病院

横山 博典
国立循環器病研究センター

善積 透
川崎病院

李 民純
星総合病院

(50音順)

Program at a glance

Thursday, October 17

Friday, October 18

Saturday, October 19

	Room 5	Room 7	Poster Session	Room 5	Room 7	Poster Session	Room 5	Room 7	Themed Theater	Poster Session
7:00										
8:00										
9:00	虚血による心電図 (ST変化)の みかたの基礎	デバイスを理解しよう①	Poster Session @Exhibition	補助循環の 基礎から 実際まで① 「IABP」	カテ室看護に おける自施設の 取り組み・工夫	Poster Session @Exhibition	Angioセッション -透視線量と 画質評価について	基礎の再確認①		Poster Session @Exhibition
10:00	虚血による不整脈の みかたの基礎	デバイスを理解しよう②		補助循環の 基礎から 実際まで② 「PCPS」				基礎の再確認②		
11:00	カテーテル検査・ 治療中に起こりうる 心電図(STT) 変化を知ろう!	デバイスを理解しよう③	Digital Poster Session @Promotion Bureau	補助循環の 基礎から 実際まで③ 「VAD」	カテ室看護を 学ぼう基礎知識	Digital Poster Session @Promotion Bureau	基礎セッション①	基礎の再確認③		Digital Poster Session @Promotion Bureau
12:00	カテーテル検査・ 治療中に起こりうる 不整脈を知ろう!									
13:00	Treatment strategy of the Atrial Fibrillation <small>バイオテクノロジージャパン株式会社</small>		表彰式		PCIの歴史を 作った偉人達 <small>アボットバスキュラー・ジャパン株式会社</small>	表彰式	IVUS 虎の巻 号外号 ~新しいImaging デバイスが やってきた~ <small>ボーンガイアエドテックジャパン株式会社</small>		表彰式	表彰式
14:00	EVTに必要な PADの知識 ~疫学から予後まで~	予期せぬ事態 に備えて ~合併症と対策~		IVUS/OCT/FFRを もっと理解しよう① 「IVUS」	エキスパートから 学ぼう看護ケア		基礎セッション②		コメディカル ライブ LIVE Live Demonstrations	
15:00	PAD診断に 必要な知識①			IVUS/OCT/FFRを もっと理解しよう② 「OCT」			ここが、一押し! 最新CT			
16:00	PAD診断に 必要な知識②	VIDEO LIVE		IVUS/OCT/FFRを もっと理解しよう③ 「FFR」	スタッフ教育					
17:00	EVT治療の実際と 超音波の活用法	となりの施設 のCAG <small>朝日インテック・セールス株式会社 ゼオンメディカル株式会社</small>		次世代デバイス を 理解しよう	心臓リハビリ					
18:00										
19:00										
20:00										

Thursday, October 17

Room 5

8:30-9:30 虚血による心電図(ST変化)のみかたの基礎

ACSが強く疑われる場合には緊急カテーテル検査、治療の目的でアンギオ室に移動となります。しかし、その前に、一番最初に実施する検査は心電図でしょう。心電図で明らかな変化があれば直ちに移動となることもあります。そこで、明らかな心電図変化の判読のしかたを、基礎の基礎から説明し、理解していただく事を目的としました。ここで理解しておく、緊急でなくともカテーテル検査、治療中に何か起こりうるか予測でき、合併症の予防、早期対応が出来ることとなります。また、座長は検査技師以外の経験豊富な職種の方にしていただき、心電図に関する疑問をぶつけていただき解決していただく予定です。

座長
中村 康雄

演者
辻井 正人

9:30-10:30 虚血による不整脈のみかたの基礎

虚血による心電図変化はST上昇だけではなく、T波の変化(T波増高先鋭化、平低、陰性化)、U波の変化(陽性化、陰性化)、QRS波の変化(R波増高、減高、QRS幅変化)などがあります。それら、虚血による心電図変化のみかたを、他疾患との鑑別法も踏まえレクチャーしていただきます。

座長
中山 一夫

演者
清水 速人

10:30-11:30 カテーテル検査・治療中に起こりうる心電図(STT)変化を知ろう!

カテーテル検査・治療の、アンギオ室入室から退室までの流れと共に、起こりうるSTT変化、例えば右冠動脈#3の75%に対しSTENT留置したが、slow flowになってしまった。心電図ではII、III、aVf誘導でST上昇、鏡像(mirror image)で、I、aVL、V1~3でST低下、その後、QRS幅が広くなり・・・など基本的なパターンを経験豊富な臨床検査技師にレクチャーしていただきます。

座長
富田 紀雄

演者
木下 昌樹

11:30-12:20 カテーテル検査・治療中に起こりうる不整脈を知ろう!

カテーテル検査・治療の、アンギオ室入室から退室までの流れと共に、起こりうる不整脈、例えば、右冠動脈のSTEMI患者が、1度房室ブロックからウェンケバッハ型2度房室ブロックさらに完全房室ブロックになってしまった。など、虚血部位による不整脈の違いと、時間経過とともにどの様な不整脈に発展していくかなどを経験豊富な臨床検査技師にレクチャーしていただきます。

座長
塩田 裕啓

演者
赤松 俊二

Luncheon Seminar

12:30-13:30 Treatment strategy of the Atrial Fibrillation

座長
辻井 正人
新田 功児 (一宮市立市民病院)

演者
金子 鎮二 (豊田厚生病院)

共催: バイオトロニックジャパン株式会社

13:30-18:00 [EVT] [PAD]

近年、冠動脈に対するインターベンションのみならず、全身の血管に対するインターベンション、さらには弁膜症に対するインターベンションへと発展してきている。Peripheral Artery Disease(PAD)においては、術前における非侵襲的検査の役割が大きく、インターベンション治療の際にもエコーガイド下治療などのコメディカルの携わる役割が大きい。特にCritical Limb Ischemiaに対するフットケアにおいては、検査技師や放射線技師も含んだチーム医療による集学的治療が必要である。よって今回のセッションでは、PADに携わるコメディカルに必要な知識から実際の臨床現場におけるコツなどについてエキスパートから学べる機会を企画しました。

13:30-14:30 EVTに必要なPADの知識 ~疫学から予後まで~

座長
清水 速人

末梢動脈疾患と血管内治療の知っておきたい10のこと
河原田 修身

14:30-16:00 PAD診断に必要な知識①

座長
鍵谷 文彦

下肢の解剖と生理を学ぼう
寺澤 史明

PAD診断の手順とモダリティー
三木 俊

ABI ABI正常=PAD否定?
浅岡 伸光

16:00-17:00 PAD診断に必要な知識②

座長
椎原 大介

重症虚血肢(CLI)の臨床と超音波
永井 美枝子

超音波によるPAD診断
八鍬 恒芳

17:10-18:00 EVT治療の実際と超音波の活用法

座長
三木 俊

演者
滝村 英幸

Room 7

8:30-12:20 デバイスを理解しよう

通常使用されているPCIの道具にはすべて使われる理由が存在する。それらの存在価値をきちんと理解することにより、すべてのPCI環境においてコメディカルが作るよりよい環境設定につながる。道具は術者だけが知っているのではなく、すべてのスタッフが知ることによりより安全性が担保される。このセッションでは基本的な作りから使用方法、注意点まで詳しく解説していただこうと考えている。初心者から上級者まで幅広く学んでいただけるようなセッションにしたい。皆様のご参加に期待する。

項目：ガイドカテーテル、ガイドワイヤー、
マイクロカテーテル、Balloon、STENT、
Rota、etc

8:30-9:45 デバイスを理解しよう①

座長

添田 信之

ガイドカテーテル

國井 由花

ガイドワイヤー

塩田 裕啓

マイクロカテーテル

菊地 康昭

9:50-11:05 デバイスを理解しよう②

座長

野崎 暢仁

バルーン

太田 悦雄

ロータブレーター

宮本 秋生

冠動脈ステント

宇井 雄一

11:10-12:20 デバイスを理解しよう③

座長

菊地 康昭

末梢血管ステント

橋本 潤一

ステントグラフト

小林 俊博

穿刺部位と止血デバイス

玉澤 充

13:35-15:35 予期せぬ事態に備えて ～合併症と対策～

PCIを行うにあたって合併症はできることなら経験したくないことである。しかし少ない確率ではあるが必ず起こりうることである。そんな中で様々な施設で起こった事例をみんなで共有することにより、各々の施設でよりよい対応ができるようになればと考えこのようなセッションを企画させていただいた。まず基本的な合併症の種類、起こりうる環境、それに対する対応等の基調講演を行い、そのあと個々の症例について解説、討論したいと考える。職種を超えたすべてのコメディカルに学んでいただきたいと考え、皆様のご参加に期待する。

座長

中村 可奈

平田 和也

基調講演

稲田 毅

症例示

太田 悦雄

玉澤 充

橋本 潤一

15:35-18:00 ビデオライブ とのりの施設のCAG

“うちの施設ではこうやっているけど、他施設ではどうやっているんだろう???”という疑問を持ったことはありませんか?

このセッションでは国内の有名な施設におけるCAGがどのように行われているのか、また各施設の取り組みなどをビデオライブ形式で紹介いたします。

座長

島袋 朋子

添田 信之

湘南鎌倉総合病院

島袋 朋子

日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院

武田 和也

心臓血管研究所付属病院

納口 英次

札幌心臓血管クリニック

宮本 秋生

心臓病センター榊原病院

小森田 翔

共催：朝日インテックJセールス株式会社
ゼオンメディカル株式会社

Friday, October 18

Room 5

9:00-12:10 補助循環の基礎から実際まで

補助循環に関するレベルアップを目的としたセッションです。
循環不全に対して使用するIABP、PCPS、VADに関して、基礎から実際の使用時における管理や観察ポイント、注意点などを経験豊富なコメディカルに話していただきます。

9:00-10:00 補助循環の基礎から実際まで①「IABP」

座長
國井 由花
IABPの基礎
岡田 忠久
IABPの実際
木下 昌樹

10:05-11:05 補助循環の基礎から実際まで②「PCPS」

座長
宇井 雄一
PCPSの基礎
野崎 暢仁
PCPSの実際
赤松 俊二

11:10-12:10 補助循環の基礎から実際まで③「VAD」

座長
菊地 康昭
VADの基礎と実際
西岡 宏

13:35-16:45 IVUS/OCT/FFR をもっと理解しよう

IVUS、OCT、FFRに関するレベルアップを目的としたセッションです。
IVUSとOCTに関しては基礎的な内容とIVUSガイドPCI、OCTガイドPCIにおける計測のコツや観察ポイント、工夫点などを、FFRに関しては基礎的な内容と施行時のポイント、工夫点や注意点などを経験豊富なコメディカルに話していただきます。

13:35-14:35 IVUS/OCT/FFR をもっと理解しよう①「IVUS」

座長
玉澤 充
IVUSの基礎
中川 透
IVUSガイドPCIの実際
菊地 康昭

14:40-15:40 IVUS/OCT/FFR をもっと理解しよう②「OCT」

座長
橋本 潤一
OCTの基礎
平田 和也
OCTガイドPCIの実際
谷岡 怜

15:45-16:45 IVUS/OCT/FFR をもっと理解しよう③「FFR」

座長
塩田 裕啓
FFRの基礎
玉澤 充
FFRの実際
長谷川 由美子

16:50-17:50 次世代デバイスを理解しよう

カテーテルインターベンションのデバイスは日々、進歩して新しいものがリリースされています。このセッションでは近い将来使用可能であると考えられる次世代のデバイスに関するセッションです。

座長
中西 基修
TAVI
清水 速人
iFR
長谷川 由美子
BVS
平田 和也

Room 7

9:00-10:45 カテ室看護における自施設の取り組み・工夫

カテ室での看護師は看護ケアだけでなく、医療安全、感染対策に関することでも重要な役割をもっています。また、カテ室という医療チームの中では常に患者さんの身近にいる立場にあります。このセッションはカテ室において取り組んでいることを自由に発表していただきたいと思っています。他施設の工夫がきっと参考になると思います。昨年、応募が多かったセッションです。

座長

木下 博子
高橋 美重子

安全な職場作りを目指してー看護師の放射線被曝低減ー
水野 奈津己

情報共有化・医療事故防止へと繋がるタイムアウトを実施して
藤野 絹代

放射線皮膚障害に対する取り組みと今後の課題を中心に
梅田 知子

ICU看護師における血管室勤務への取り組み
與座 宏之

血管カテーテル時に使用する離被架の改善について
磯谷 朋樹

10:45-12:20 カテ室看護を学ぼう 基礎知識

エキスパートナースにカテ前、カテ中、カテ後の看護ケアについてレクチャーしていただく、新人さん向けのセッションです。今さら聞けない話もでてくるかもしれません。また循環器領域では薬の知識はとても大事なことです。特にカテーテルの検査・治療に絡む薬について薬剤師から講演していただこうと思います。

座長

穴戸 尚美
富田 紀雄

カテ前
宮本 亜紀

カテ中
木下 博子

カテ後
小林 由実

薬剤師
篠原 裕

Luncheon Seminar

12:30-13:30 PCIの歴史を作った偉人達

座長

平田 和也

演者

添田 信之

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

13:30-15:00 エキスパートから学ぼう 看護ケア

事例を通してワークショップ。こんな時どうしてる？毎日スムーズに検査や治療が行われるわけではない。スタッフ同士の思い違いや急な患者のトラブルについて、事例を通してワークショップ形式でコメントーターの先生方と共に正解をみつけていきたいと思っています。

座長

島袋 朋子
中村 康雄

コメントーター

伊藤 明子
大沢 千春
大竹 陸希光
保山 悦子

15:00-16:30 スタッフ教育

循環器のエキスパートを目指すべく看護師の育成について各施設においてはひとり一人に応じたスキルアップを考え日々スタッフ教育に取り組まれていると思います。このセッションではそれぞれに施設での現状と教育に関するシステムを発表していただき活発な意見交換ができればと思います。

座長

浅井 優子
山木 英樹

小集団におけるシミュレーションを取り入れた急変時対応教育

武山 洋子

**カテ室看護師育成方法について
～アンケート結果からラダー評価を導入して～**
齊藤 清美

目標管理と教育プログラムの融合の実践
保山 悦子

On the job learning 活動の実際
二井 雅江

16:30-18:00 心臓リハビリ

「運動療法」「食事療法」「患者教育」が心臓リハビリの柱になっています。他部署との連携が重要なこのセッションでは、チーム医療における心臓リハビリの取り組みや看護師の役割について発表していただき、効果的なリハビリを考える良い機会になると思います。

座長

石川 芳枝
島袋 朋子

心臓リハビリテーション室を創ろう!!
中村 可奈

高齢者に与える心臓リハビリテーションノーマンタル面からみた有効性ー
峯澤 忍

心臓リハビリテーションにおける看護師の役割
李 民純

末期心不全緩和医療 - グリーフケアの重要性
保田 彰

Saturday, October 19

Room 5

8:45-10:45 **Angio セッション**
—透視線量と画質評価について

アンギオセッションでは、フラットパネルの透視線量と画質をテーマに各メーカー5社にそれぞれ異なる被ばく低減技術や、画質について講演していただきます。また、各ユーザー5名に同じテーマでユーザーの立場から講演していただこうと思います。

座長

鯨井 秀之
横山 博典

株式会社島津製作所

三浦 嘉章 (株式会社島津製作所)
向井 亮太郎

東芝メディカルシステムズ株式会社

保坂 健一 (東芝メディカルシステムズ株式会社)
山口 隆義

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

谷口 研二 (GEヘルスケア・ジャパン株式会社)
本多 貴士

シーメンス・ジャパン株式会社

矢野 義照 (シーメンス・ジャパン株式会社)
柳川 康洋

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

中井 正敏 (株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン)
川瀬 佳希

10:50-11:50 **基礎セッション①**

基礎セッション1では、Cardiac CT撮影において必要な解剖、撮影条件、造影剤量など基礎的なことについて講演していただきます。Cardiac MRIにおいてはCTほど普及していませんが、今後撮影を行う施設にとって必要なシーケンス、プロトコールについて講演していただきます。

座長

渋谷 徹
水戸 武史

Cardiac CTの基礎について

小坂 浩之

Cardiac MRの基礎について

小味 昌憲

Luncheon Seminar

12:00-13:00 **IVUS 虎の巻 号外号**
~新しい Imaging デバイスがやってきた~

座長

添田 信之

コメンテーター

赤松 俊二
清水 速人

演者

園田 信成
平田 和也
山口 敏和

共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

13:00-14:00 **基礎セッション②**

基礎セッション2では、放射線技師にとって必要なIVUSの基礎、読み方について詳しく講演していただきます。後半はFFRの原理、構造、臨床応用などを講演していただきます。

座長

堂領 和彦
松本 一真

IVUSの基礎について

川村 克年

FFRの基礎について

蓬原 永盛

14:00-16:00 **ここが、一押し！最新CT**

CT検査は、64列MDCTの普及によって虚血性心疾患を始めとする心臓検査の一般的な診断ツールとして定着しました。近年ではさらに進化を遂げた機種やアプリケーションが今までの64列MDCTの限界を克服すべく実臨床で活躍しはじめています。今回は、“ここが、一押し！最新CT”と題して最新機種による心臓CT検査の現状についてご紹介いただき、限界の克服について議論したいと思います。

座長

池田 秀
佐野 始也

基調講演

近藤 武

GE Discovery CT750 HD

佐藤 英幸

Philips Brilliance iCT

佐々木 康二

TOSHIBA Aquilion ONE

山口 隆義

SIEMENS SOMATOM Definition Flash

永澤 直樹

Room 7

8:30-11:40 基礎の再確認

カテーテルインターベンションの道具や技術は日々進歩しています。新しい知識を習得するには基礎が重要です。基本に帰って基礎知識を再確認していただければと考えます。

8:30-9:30 基礎の再確認①

座長

中川 透

心臓の解剖と冠動脈

中西 基修

虚血の心電図の読み方

辻井 正人

9:35-10:35 基礎の再確認②

座長

太田 悦雄

心内圧と血行動態の基礎

山口 敏和

血管治療対象となる動脈の解剖

中山 一夫

10:40-11:40 基礎の再確認③

座長

木下 昌樹

造影剤と腎障害

塩田 裕啓

放射線被ばくの基礎

鯉井 秀之

Themed Theater

13:00-16:00 コメディカルライブ



多くの施設で、カテ室は医師(メディカル)、看護師、臨床工学士、診療放射線技師、臨床検査技師など(コメディカル)で構成されています。

実際に手技を行うのは医師であるが、どんなに熟練された医師であっても、チーム医療の中ではフラット型の組織の一員という側面があり、コメディカルスタッフのふるまい次第で“負の連鎖”に陥ることがあります。患者様に安心・安全・的確かつスピーディな検査・治療を提供するという目的を持ったカテ室でのチーム医療の中では、コメディカルスタッフは自分自身の役割を理解し、十分に力を発揮することが求められます。

しかし、学会などに参加し知識を付けても、どのようにその力を発揮すればいいのか迷われているかたもみえると思います。

今回は、同じ目的を持ったチーム医療の中で、いかにコメディカルスタッフが役割を理解し、力を発揮できるのか、カテ室にコメディカルスタッフが存在する意義を感じられるライブを目指します。

是非、多数のコメディカルスタッフの参加を期待します。

豊橋ハートセンター

オペレーター

大久保 宗則

13:00-14:30 コメディカルライブ①

座長

添田 信之

中村 可奈

コメンテーター

國井 由花

清水 速人

武田 和也

中村 康雄

Soo Hwan Park

ミニレクチャー

Method of prevention of contrast medium-induced nephropathy in the hospital

Soo Hwan Park

14:30-16:00 コメディカルライブ②

座長

島袋 朋子

山口 敏和

コメンテーター

穴戸 尚美

辻井 正人

鯉井 秀之

平田 和也

Bong Su Kim

ミニレクチャー

Radiation exposure dose of operators according to the change of shield's angles during percutaneous cardiac intervention

Bong Su Kim

Thursday, October 17

Poster Session

Exhibition Booth E

9:00-10:30 臨床検査技師・臨床工学技士

座長
谷岡 怜

- C-01 経皮的脱血カニューレQuickDrawの性能評価
藤川 義之
明石医療センター
- C-02 **Digital** PCPS中の下肢阻血に対する炭酸ガス含有ジェル剤塗布の有用性に関する検討
清水 芳行
名古屋市立東部医療センター
- C-03 緊急カテにおける当院の取り組み
玉井 龍輝
東邦大学医療センター大森病院
- C-04 末梢血管インターベンションにおける血流モニタリングの有用性について
中田 文
社会医療法人 大道会 森之宮病院
- C-05 デュアルインピーダンス法による内臓脂肪量の検討
田中 宏枝
地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
- C-06 下肢末梢血管に対する治療効果の検証
持田 慶彦
千葉西総合病院
- C-07 間欠性跛行症例に対する運動負荷ABI検査の有用性についての検討
中田 文
社会医療法人 大道会 森之宮病院
- C-08 **Digital** CLIへのPPI施行時におけるレーザ血流計を用いた皮膚微小循環モニタリングの検討
塩田 裕啓
洛和会丸太町病院
- C-09 当院におけるカテーテル検査室での臨床工学技士の関わり
瀬尾 雄大
島根大学医学部附属病院
- C-10 サーマグラフィと体表面エコーが救肢の鍵となった上肢重症虚血症例
曾我部 愛
済生会西条病院
- C-11 造影時に手元にかかる造影剤別圧力の検討
竹内 正人
島原病院
- C-12 Long guiding sheathを使用した末梢動脈疾患に対するEVTの検討
國分 利規
太田西ノ内病院
- C-13 心臓カテ台における物品落下防止の工夫
柿本 将秀
医療法人 三重ハートセンター

Exhibition Booth F

9:00-10:30

座長
平田 和也

- C-14 VISIATLASを用いた冠動脈プラークの経時的変化と脂質に関する検討
塩見 基
KKR高松病院
- C-15 連続病変の治療適応決定に心筋血流予備比 (FFR) が有効であった一例
村上 一夫
社会医療法人社団 カレスUPPORT 時計台記念病院
- C-16 冠動脈・末梢血管インターベンション後の止血デバイス (エクソシル) の安全性と有用性
原光 佑一
岸和田徳洲会病院
- C-17 MCLSに対しSTENT留置し、ISRにて再治療を施行した臨床経験～FFR及びCFRによる検証～
林 貞治
千葉西総合病院
- C-18 条件付きMRI対応ペースメーカーにおけるMRI撮影体制の構築
添田 信
亀田総合病院
- C-19 当院におけるエコーを用いた穿孔部合併症への対応
植田 晃功
松山ハートセンター よつば循環器科クリニック
- C-20 当院における「Dynamic Stent View」有効症例と安全性について
藤原 充志
所沢ハートセンター
- C-21 **Digital** 厚みの異なる2種類の石灰化病変モデルに対する、各種スコアリングバルーンの拡張効果
馬場 速夫
IMSグループ 医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院
- C-22 **Digital** ACS症例におけるdistal protection device使用の検討
小森田 翔
心臓病センター榊原病院
- C-23 STENT deformationが疑われた一例 - 実験の検討も含めて -
Digital 中川 透
金沢医科大学病院
- C-24 スtent内再狭窄におけるOCTでの検討
中曾根 由季
東京警察病院
- C-25 急性心筋梗塞に対してエキシマレーザー冠動脈形成術が有用であった1症例
笹盛 幹文
札幌心臓血管クリニック
- C-26 エキシマレーザー施行例に対しOCTを用いたプラーク性状の評価
川村 幸士
康生会武田病院

Thursday, October 17

Saturday, October 19

Digital Poster Session

Promotion Bureau

10:45-12:20 臨床検査技師・臨床工学技士

座長
國井 由花
長谷川 由美子

コメンテーター
納口 英次

審査員
平田 和也

審査員長
藤井 謙司

C-02 PCPS中の下肢阻血に対する炭酸ガス含有ジェル剤塗布の有用性に関する検討

Digital

清水 芳行
名古屋市立東部医療センター

C-08 CLIへのPPI施行時におけるレーザ血流計を用いた皮膚微小循環モニタリングの検討

Digital

塩田 裕啓
洛和会丸太町病院

C-21 厚みの異なる2種類の石灰化病変モデルに対する、各種スミアリングバルーンの拡張効果

Digital

馬場 速夫
IMSグループ 医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院

C-22 ACS症例におけるdistal protection device使用の検討

Digital

小森田 翔
心臓病センター榊原病院

C-23 STENT deformationが疑われた一例 - 実験の検討も含めて -

Digital

中川 透
金沢医科大学病院

12:20-12:30

表彰式

Friday, October 18

Poster Session

Exhibition Booth D

9:00-10:30 放射線技師

座長
西尾 一希

C-27 診療放射線技師が取り組むICRP勧告に準じた被曝管理の新たな試み

Digital

加藤 京一
昭和大学

C-28 治療成績から導く下肢PPI患者被曝ハイリスク症例の傾向分析

中山 一夫
新東京病院

C-29 心房細動(Af)アブレーション時の被ばく線量の把握 パラメータ変更前後での比較

村山 和宏
JA愛知厚生連 豊田厚生病院

C-30 患者皮膚線量低減パラメータの変化に伴うカテーテル室内空間線量の検討

水崎 繁
三重ハートセンター

C-31 Innova visionによるablationの視覚的補助

館林 正樹
上尾中央総合病院

C-32 血管撮影室における多職種向け被曝低減カンファレンスの実施報告

宮澤 清久
新東京病院

C-33 心拍によるmotion artifactがステント留置のIVUS markingに及ぼす影響

齋藤 誠
IMSグループ 横浜新都市脳神経外科病院

C-34 散乱線防護IVRテーブル (SPRIT) の開発およびその散乱線防護効果

北野 一良
兵庫県立姫路循環器病センター

Exhibition Booth E

9:00-10:30

座長
徳永 洋二

C-35 左総腸骨動脈仮性動脈瘤の診断において造影CTが有用となった症例の報告

柴 俊幸
所沢ハートセンター

C-36 LMTにstent留置後、CT検査よりstent deformationが確認できた一例

竹本 直哉
公仁会 大和成和病院

- C-37** 心臓CTの撮影条件 Eff.mAsの検討
平田 真浩
聖マリアンナ医科大学病院
- C-38** 冠動脈CT時の酸素投与による心拍数変化と吸気・呼気使い分けによる息止め成功の考察
小野 奈緒美
札幌心臓血管クリニック
- C-39** ステンツの種類による伸長度の差の関する冠動脈CTを用いた検討
吉田 弘樹
鉄蕉会 亀田総合病院
- C-40** 冠動脈CT検査における診療放射線技師の一次読影と治療計画の影響
上野 浩輝
埼玉石心会病院
- C-41** 低管電流撮影・フル再構成による前向き心電図同期320列面検出器CT冠動脈血管造影
佐野 始也
高瀬クリニック
- C-42** MDCTが有用であった部分肺静脈還流異常症の1例
永森 嵩士
大阪警察病院
- C-43** 冠動脈CTA検査における5年間での心事故発生率の検証
Digital 小北 修平
大阪警察病院
- C-44** PTAVにおける大動脈弁の4DCT評価
Digital 長谷川 亮太
千葉県循環器病センター

Exhibition Booth F

9:00-10:30

座長
上田 祐二

- C-45** 短時間心臓MRIの有用性～大動脈弁閉鎖不全症（AR）を中心に～
西尾 康孝
おもと会 大浜第一病院
- C-46** StentBoostを用いた冠動脈ステント拡張径計測と3回拡張法の有用性の検討
北 裕一
北海道循環器病院
- C-47** <くまもと遠隔医療ネットワーク>を用いて治療方針を決定した労作性狭心症の一例
岩本 貴史
阿蘇市国民健康保険 阿蘇中央病院
- C-48** CDAにおける撮影プロトコル並びにCO2注入条件の検討
Digital 五十嵐 愛
国保小見川総合病院
- C-49** シングルプレーン血管撮影装置故障時におけるリスクマネージメント
五十嵐 愛
国保小見川総合病院
- C-50** PCI治療戦略におけるRing like Signの重要性について検討した2症例
檜作 聡
札幌整形循環器病院

- C-51** CBCTを用いた透析シャント血管描出の試み
Digital 佐々木 将平
大阪市立大学医学部附属病院
- C-52** 炭酸ガス造影下血管内治療の術前検査に有用な非造影下肢MRAおよびCTの検討
岡 尚求
時計台記念病院
- C-53** 炭酸ガスによる血管造影
藤井 修平
社会医療法人 大道会 森之宮病院
- C-54** LMT・分岐部病変に対するQCA解析における計測精度の検討 - IVUSおよびOCTで対比して -
今井 康之
医療法人誠善会 新東京病院

Digital Poster Session

Promotion Bureau

10:45-12:20 放射線技師

座長
山田 浩司
善積 透

コメンテーター
藤沢 康雄

審査員
穴井 達弥

審査員長
東野 順彦

- C-27** 診療放射線技師が取り組むICRP勧告に準じた被曝管理の新たな試み
Digital 加藤 京一
昭和大学
- C-43** 冠動脈CTA検査における5年間での心事故発生率の検証
Digital 小北 修平
大阪警察病院
- C-44** PTAVにおける大動脈弁の4DCT評価
Digital 長谷川 亮太
千葉県循環器病センター
- C-48** CDAにおける撮影プロトコル並びにCO2注入条件の検討
Digital 五十嵐 愛
国保小見川総合病院
- C-51** CBCTを用いた透析シャント血管描出の試み
Digital 佐々木 将平
大阪市立大学医学部附属病院

12:20-12:30 表彰式

Saturday, October 19

Poster Session

Exhibition Booth E

9:00-10:00 **看護師**

座長
木下 博子

- C-55 緊急カテーテル介助のシミュレーション内容の評価
山崎 光世
群馬県済生会前橋病院
- C-56 door to balloon時間短縮への取り組み受付職員へのレクチャーの試み
上村 佳代
医療法人 三重ハートセンター
- C-57 クリニカルパスの改訂でみた業務改善とスタッフの意識向上
西原 隼
済生会西条病院
- C-58 **Digital** タブレット型端末を用いたPCIオリエンテーションの実施と検証
阿久澤 ゆかり
群馬県済生会前橋病院
- C-59 患者の要望を組み入れた写真付きパンフレットを用いてのPCI/CAG術前訪問の有用性
伊藤 光子
IMSグループ 医療法人明芳会 横浜新都市脳神経外科病院
- C-60 自宅療養中に足創傷が感染増悪したCLI患者に対するセルフケア支援を考える
金城 美恵
社会医療法人 大道会 森之宮病院
- C-61 **Digital** 血管検査室のインシデント分析 - Pm-SHELLモデルを使用した再分析でわかったこと -
吉中 麻美子
NTT東日本関東病院
- C-62 **Digital** 医材料コスト漏れ防止対策を実施し見えてきた意識の変化
藤野 絹代
聖マリアンナ医科大学病院

Exhibition Booth F

9:00-10:00

座長
大築 理和

- C-63 **Digital** Door to balloonタイムスタディ: 長崎県離島A病院の急性心筋梗塞症例の比較検討
主藤 初子
長崎県対馬いづはら病院
- C-64 夜間緊急カテーテル室入室までの迅速な対応について
桑山 誉昌
高瀬クリニック
- C-65 心臓カテーテル室における記録の見直しを試みて
福島 洋美
公益財団法人 心臓血管研究所付属病院

C-66 **Digital** ICD植え込み術に拒否が見られた患者の心理過程の変化～コーンの危機理論を用いて～

服部 香奈
群馬大学医学部附属病院

C-67 カテ室看護とは?～看護師の看護に対する意識調査を実施して～

大沢 千春
IMSグループ 医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院

C-68 当院におけるスレンダーPCIの現状

佐藤 照美
那須赤十字病院

C-69 開心術後患者の訴えについての検討

丹治 祐奈
星総合病院

Digital Poster Session

Promotion Bureau

10:30-11:50 **看護師**

座長
穴戸 尚美
島袋 朋子

コメンテーター
中村 康雄

審査員
齊藤 清美

審査員長
治田 精一

C-58 **Digital** タブレット型端末を用いたPCIオリエンテーションの実施と検証

阿久澤 ゆかり
群馬県済生会前橋病院

C-61 **Digital** 血管検査室のインシデント分析 - Pm-SHELLモデルを使用した再分析でわかったこと -

吉中 麻美子
NTT東日本関東病院

C-62 **Digital** 医材料コスト漏れ防止対策を実施し見えてきた意識の変化

藤野 絹代
聖マリアンナ医科大学病院

C-63 **Digital** Door to balloonタイムスタディ: 長崎県離島A病院の急性心筋梗塞症例の比較検討

主藤 初子
長崎県対馬いづはら病院

C-66 **Digital** ICD植え込み術に拒否が見られた患者の心理過程の変化～コーンの危機理論を用いて～

服部 香奈
群馬大学医学部附属病院

11:50-12:00 **表彰式**

CT Skill-up Seminar

*English Available

Dates: *Thursday, October 17 - Saturday, October 19*

Venue: *Kobe International Exhibition Hall 1, Exhibition Hall*

For: *Medical, Co-medical*

Course Director: *Satoru Sumitsuji*

Course Co-Director: *Seiko Ide (Osaka University)*

Ryosuke Kametani (Nagoya Tokushukai General Hospital)

Tadashi Kuroda

(Osaka Medical center for Cancer and Cardiovascular Diseases)

Masaaki Okutsu

Over the past decade Heart CT has advanced to an effective tool for assessing coronary artery disease. With the ability of evaluating (1) coronary plaques characteristics, (2) severity and extent of calcified coronary artery segments and (3) coronary arteries beyond chronic total occlusions, Heart CT still holds enormous potential as a PCI supporting tool. While PCI success rates can be further improved, integrated CT information helps to stratify procedural risk and reduce complications. For this purpose, however, analyzing Heart CT by the PCI operator himself is essential.

The present course aims to introduce the novel, user-friendly "Sliding Slab MIP" method, and to demonstrate how to take full advantage of Heart CT imaging in your daily PCI cases. Please join us to learn and experience the potential of cardiac MDCT.

Since there is a limited capacity of 12 attendees per session, it is highly recommended that you register as early as possible.

We kindly invite you to bring your own case data in DICOM format (300-400 axial data set) for analysis during break time.

Fundamental Course

The basic operation and diagnostic methods of "Sliding Slab MIP" will be explained.

Advanced Course

A seminar working with doctors who have already learned the basic operation of "Sliding Slab MIP".

Discussions will be made according to your own analysis of the practical cases.

Sponsored by: FUJIFILM Medical Co., Ltd. / GE Healthcare Japan Corporation / Ziosoft, Inc.

※ All sessions will be held in Japanese. However, English speaking assistant is available for all sessions.

Dates	Session	Time	Course	Capacity
Thursday, October 17	A	10:00-11:30	Fundamental	12
	B	14:30-16:00	Advanced	6
	C	16:00-17:30	Co-medical	12
Friday, October 18	D	9:00-10:30	Co-medical	12
	E	10:45-12:15	Fundamental	12
	F	14:30-16:00	Advanced	6
	G	16:30-18:00	Fundamental	12
Saturday, October 19	H	10:00-11:30	Advanced	6
	I	13:30-15:00	Fundamental	12

Pre-registration is required for these sessions. On-site registration may still be possible depending on the seat availability.

Rotablator Mastership Program -CCT Course-

*English Available

Dates: Thursday, October 17

Sponsored by: Boston Scientific Japan K.K.

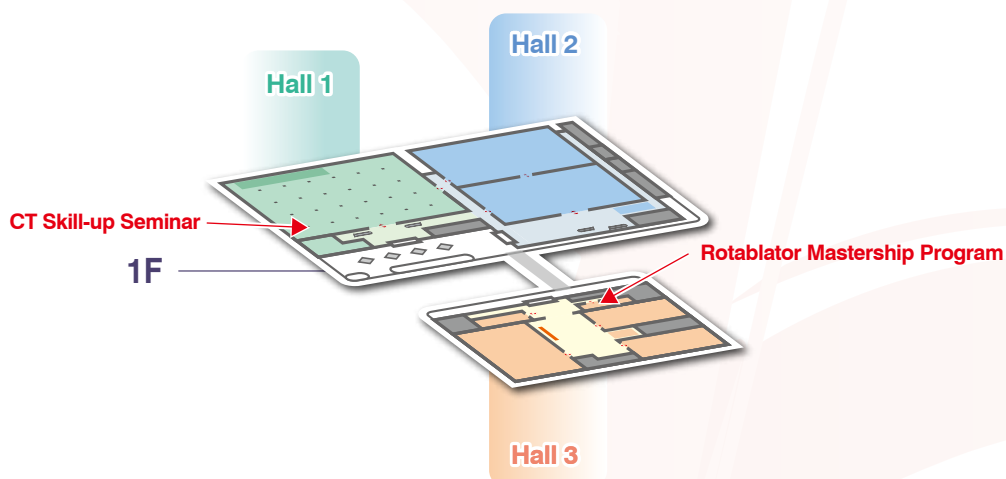
Venue: Kobe International Exhibition Hall 3

For: Medical

This training program consists of themed lectures from a team of highly experienced Rotablator operators, as well as case-centered discussions. The lectures provide guidance on applied techniques and troubleshooting, to help operators treat the more difficult cases encountered in actual clinical settings. Case discussions will serve to deepen participants' understanding as well as maximize the clinical essence of this mode of treatment. Actual Rotablaters and anatomical models will be provided for hands-on training.

Dates	Session	Time	Target	Theme	Lecture	Capacity
Thursday, October 17	A	10:30-12:00	Medical	Strategy for Calcified Lesion with Rotablator	Takashi Ashikaga	10

Pre-registration is required for these sessions. On-site registration may still be possible depending on the seat availability.



CT Skill-up Seminar

日程: 10月17日(木)~19日(土)
会場: 神戸国際展示場1号館展示会場
対象: メディカル・コメディカル

Course Director: 角辻 暁
Course Co-Directors: 井手 盛子 (大阪大学)
奥津 匡暁
亀谷 良介 (名古屋徳洲会総合病院)
黒田 忠 (大阪府立成人病センター)

心臓CTは冠動脈診断における日常的検査として広く認められるようになりました。病変の検出はもちろんのこと、PCIのストラテジーを構築するために有用な多くの画像情報もCTから得ることができます。ただし、そのためにはわれわれ冠動脈インターベンションリストが自ら画像解析をし、PCIに必要な情報を引き出さなくては真に有効利用することはできません。画像解析方法にも様々なものがありますが、われわれはPCIに最も反映しやすい方法としてSliding Slab MIP法を推奨しています。本コースではこのSliding Slab MIP法を用いた冠動脈診断を御紹介します。心臓CTの診断能力を身に付けることで格段に冠動脈画像解析の世界は広がります。そして今後、この能力は我々にとって大きな武器となるでしょう。是非、この機会に心臓CTをマスターしてください。

また、本コースでは診療放射線技師を対象としたコースも設定しています。インターベンションの中で術者がどのような情報が必要とされるのかを理解していただけることを目標としています。

ご自身の施設で撮影されたCTデータを御持参いただければ講習の空き時間に、各社の解析ソフトを使って画像解析をすることができます。われわれがフルサポートいたします。データは再構成をおこなった最適フェーズaxial画像をDICOMデータでお持ち下さい。ご不明の場合はCTメーカー担当者へご確認いただくことをお勧めいたします。

●Co-Medicalコース

対象:コメディカル

Sliding Slab MIP法の操作方法および基本的なCT診断ポイントとPCIのポイントを解説します。

●Fundamentalコース

対象:メディカル、コメディカル

Sliding Slab MIP法の操作方法および基本的なCT診断ポイントを解説します。

●Advancedコース

対象:メディカル

Sliding Slab MIPの基本操作を習得されている方を対象とします。アンギオおよびIVUSを提示して皆さんに実際の症例のCT診断をしていただきます。基本的にはディスカッション形式で行います。

今回は富士フィルムメディカル株式会社、GEヘルスケア・ジャパン株式会社、ザイオソフト株式会社にご協力いただき3社のワークステーションを準備しております。各社台数に限りがございますのでお早めにお申し込みください。定員に満たない場合は当日、会場での参加受付も行っております。立ち見に関してはスペースの許す限り制限はありません。

共催: ザイオソフト株式会社 / GEヘルスケア・ジャパン株式会社 / 富士フィルムメディカル株式会社

日付	セッション	時間	コース	定員
10月17日(木)	A	10:00-11:30	Fundamental	12名
	B	14:30-16:00	Advanced	6名
	C	16:00-17:30	Co-medical	12名
10月18日(金)	D	9:00-10:30	Co-medical	12名
	E	10:45-12:15	Fundamental	12名
	F	14:30-16:00	Advanced	6名
10月19日(土)	G	16:30-18:00	Fundamental	12名
	H	10:00-11:30	Advanced	6名
	I	13:30-15:00	Fundamental	12名

FFR Training Center

Japanese
only

日程: 10月17日(木)~19日(土)
会場: 神戸国際展示場1号館展示会場
対象: メディカル・コメディカル

共催: セント・ジュード・メディカル株式会社

●FFRコース基礎編

講師: コメディカル

機能的な評価法として注目されているFFRの基礎と実臨床における有用性を学ぶことができるコースです。FFRの概念から正しい測定方法のコツやピットフォール、FFRによる虚血評価が有用だった症例などを経験豊富なコメディカルの講師が分かり易く解説して頂きます。

●FFRコース臨床応用編

講師: メディカル

FFRのエビデンスや実臨床における様々な症例でのFFR計測の有用性を学ぶことの出来るコースです。分岐部病変やタンデム病変などの複雑病変において、FFR測定により得られた値の解釈に困る症例について、症例提示や最新の論文の紹介を交えて、経験豊富な講師が分かり易く解説して頂きます。

日付	時間	対象	コース	講師
10月17日(木)	15:30-16:30	Co-medical	FFR基礎編-1	假屋 成耕 (京都第二赤十字病院)
10月18日(金)	10:30-11:30	Medical/Co-medical	FFR臨床応用編-1	塩野 泰紹 (和歌山県立医科大学附属病院)
	15:30-16:30	Co-medical	FFR基礎編-2	加藤 文彦 (東邦大学医療センター大橋病院)
10月19日(土)	10:30-11:30	Medical/Co-medical	FFR臨床応用編-2	大谷 速人 (聖隷三方原病院)

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

IVUS Learning Center

Japanese
only

日程: 10月17日(木)~19日(土)
会場: 神戸国際展示場1号館展示会場
対象: メディカル・コメディカル

共催: 血管内イメージング研究会
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

Small Groupe形式のレクチャーを行います。

●Standardコース: 基礎的な画像理解、計測方法の講義

●Advanceコース: IVUS の情報をPCI 戦略に応用

日付	セッション	時間	コース	
10月17日(木)	Session A	A-1	14:00-15:00	Standard
		A-2	16:00-17:00	Advanced
10月18日(金)	Session B	B-1	9:00-10:00	Standard
		B-2	11:00-12:00	Advanced
	Session C	C-1	14:30-15:30	Standard
		C-2	16:00-17:00	Advanced
10月19日(土)	Session D	D-1	9:00-10:00	Standard
		D-2	11:00-12:00	Advanced

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

OCT/OFDI Training Center

Japanese only

日程: 10月17日(木)~19日(土)
会場: 神戸国際展示場2号館3階 3B
対象: メディカル・コメディカル

Course Director: 志手 淳也

●OCTコース[メディカル]

対象:メディカル/コメディカル
講師:メディカル

OCTのエビデンスや実臨床における様々な症例におけるOCTの有用性を学ぶことの出来るコースです。症例提示では、石灰化病変や分岐部病変などにおいて、OCTにより得られた情報をどの様に診断や治療戦略に活かすかを経験豊富な講師に解説して頂きます。

●OCTコース[コメディカル]

対象:コメディカル
講師:コメディカル

FD-OCTの基礎と実臨床での有用性を学ぶことが出来るコースです。カテ室でコメディカルに求められる知識として手技方法・画像の読み方・注意点、OPTISを使用した症例提示を通して、ステントサイジングの方法やOCTの活用方法などに関して、コメディカル視点で分かり易く解説して頂きます。

●OFDIコース[治療戦略コース]

対象:メディカル/コメディカル
講師:メディカル

OFDIの原理・臨床使用におけるOFDIの有用性についての講義や、実際のOFDIのguided PCIの症例を提示いただきながら参加者の皆様に議論をする場を「OFDI治療戦略コース」とさせていただきます。

冠動脈内診断指標の一つとして新たに登場したOFDIのパフォーマンスや様々な可能性について参加者の皆様に検証していきたいと思います。

●OFDIコース[メカニカルコース]

対象:メディカル/コメディカル
講師:コメディカル

冠動脈治療に求められる画像診断の内容から、OFDIの基礎や画像処理やその解析、装置の特徴や使い方について広く学ぶ事が出来る場を「OFDIメカニカルコース」とさせていただきます。画像診断やデータ処理含め、装置関連の内容が中心のプログラムとなります。シミュレーターを使って、操作の体験が出来るプログラムも準備しております。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

共催: セント・ジュード・メディカル株式会社 / テルモ株式会社

日付	時間	対象	コース	講師
10月17日(木)	10:00-12:00	Medical/Co-medical	OFDI治療戦略-1	藤井 健一
	14:00-15:00	Medical	OCT	名越 良治 (大阪府済生会中津病院)
10月18日(金)	10:00-11:00	Co-medical	OCT	添田 信之
	14:00-16:00	Medical/Co-medical	OFDI治療戦略-2	石盛 博 (済生会横浜市東部病院)
10月19日(土)	10:00-12:00	Medical/Co-medical	OFDIメカニカル	白樫 貴宏
	14:00-15:00	Co-medical	OCT	石橋 徹 (土谷総合病院)

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

PCI Trouble Shooting Hands-on

Japanese
only

日程: 10月17日(木)~19日(土)
会場: 神戸国際展示場1号館展示会場
対象: メディカル

共催: アボットバスキュラー・ジャパン株式会社

エキスパートの先生からの直接指導により、ステント脱落、ガイドワイヤー断裂時の回収方法や、ステントにガイドワイヤーがトラップされた場合の解除方法について講義で学んでいただき、その後、Hybrid Model (擬似血管モデル)におけるステント脱落のシチュエーションで、ステント回収方法について実際に体験頂きます。

日付	時間	対象	講師
10月17日(木)	13:45-14:45	Medical	山口 淳一 (東京女子医科大学)
10月18日(金)	13:45-14:45		岡田 隆
10月19日(土)	10:30-11:30		山口 淳一 (東京女子医科大学)

Rotablator Mastership Program

日程: 10月17日(木)~19日(土)
会場: 神戸国際展示場3号館
対象: メディカル

共催: ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

ロータブレーターの手技に熟練したエキスパート陣によるテーマに則したレクチャーと、症例提示ディスカッションによるトレーニングプログラムです。レクチャーは応用的なテクニックやトラブルシューティングなど、より難易度の高い実臨床での手技に役立つ内容となっています。また、症例のディスカッションを通してインテリジェンスを深め、臨床上のエッセンスを極大化していきます。当日はハンズオン用にロータブレーター実機と人体模型を用意します。

日付	セッション	時間	テーマ	講師
10月17日(木)	A	10:30-12:00	English Session Strategy for Calcified Lesion with Rotablator	足利 貴志
	B	14:00-15:30	分岐部病変に対するロータブレーター戦略	松原 徹夫
	C	16:00-17:30	複雑病変に対するSafety Rotablatorテクニック	柴田 剛徳
10月18日(金)	D	10:30-12:00	効果的なアブレーション・テクニックとワイヤーバイアス	北山 道彦
	E	14:00-15:30	安全に、そして有効にロータブレーターを使いこなす	濱崎 裕司
	F	16:00-17:30	合併症を起こさないためのロータブレーター戦略	上野 勝己
10月19日(土)	G	10:30-12:00	複雑病変に対するテクニックと手技の工夫	岡村 篤徳

事前申込制ですが、当日会場に空席がございます場合には、ご参加いただくことが可能です。

超音波ハンズオンセミナー

Japanese
only

日程: 10月19日(土) 第1部 9:30-11:00、第2部 11:00-12:30

会場: 神戸国際展示場3号館 Room 13

対象: メディカル・コメディカル

協力: テルモ株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

あなたの疑問解決します!!

近年虚血性心疾患のみならずGlobal vascular managementが我々の診療に必要となっています。頸動脈、腎動脈、下肢動脈、下肢静脈についてエキスパートから直接指導を受け、基本から日常の疑問点を解決できる講義とハンズオンを行います。またSFA-CTOに対するエコーガイド下EVTの実際について模擬モデル(改)を用いたエコーとインターベンションのコラボレーションハンズオンを行います。メディカル・コメディカルの多数の参加をお待ちしております。

対象者: エコー経験者(初級～上級)

各コース定員: 10名(第1部 9:30～11:00、第2部 11:00～12:30 は同じセミナー内容です)

- 頸動脈エコー 講師:寺澤 史明
- 腎動脈エコー 講師:三木 俊
- 下肢動脈エコー 講師:藤田 光広
- 下肢静脈エコー 講師:八鍬 恒芳

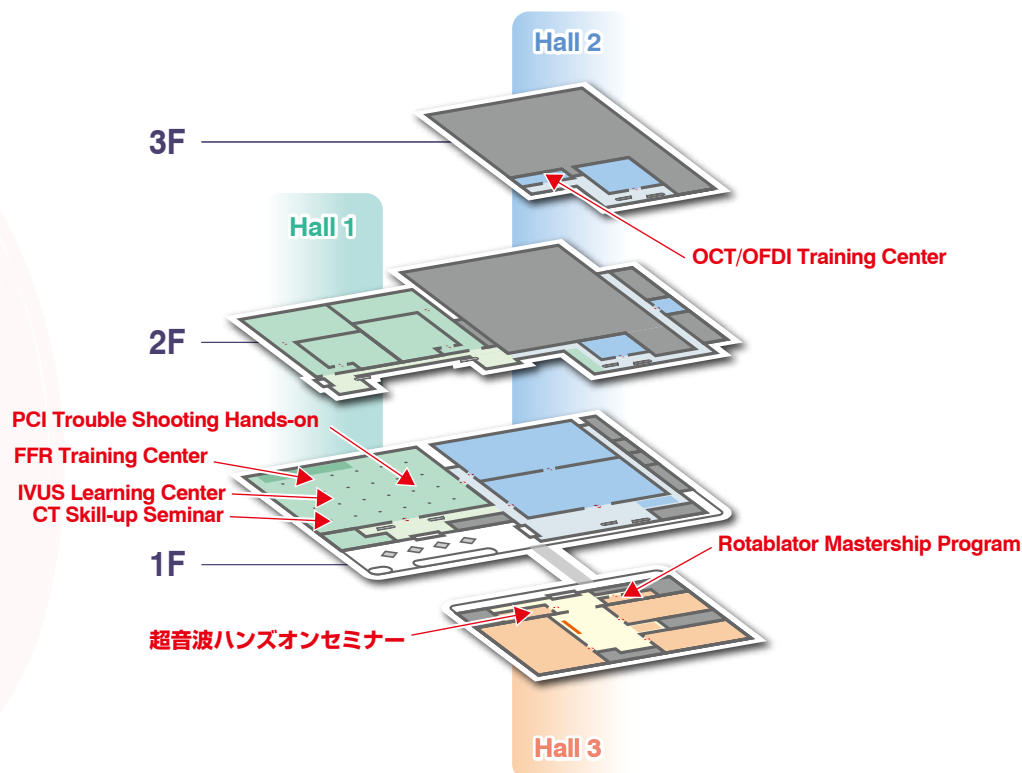
対象者:エコー経験者

定員: 5名(第1部 9:30～11:00、第2部 11:00～12:30 は同じセミナー内容です)

- インターベンションエコー 講師:滝村 英幸、永井 美枝子

※参加申し込みは、一人2コースまで可能です。

※事前申込制です。見学のみ当日受付も可能です。



CCT2013 Live Case Transmission Staff

Higashi Takarazuka Satoh Hospital

Katsuaki Asano
Akiko Fujino
Katsuyuki Hasegawa
Motoaki Ibuki
Kasumi Ishibuchi
Toshikazu Kashiyama
Shinnya Nagayama
Daisuke Shishikura
Shin Takiuchi
Masanori Yabuki

Kusatsu Heart Center

Motonobu Nakanishi
Takayuki Ogawa
Hidefumi Ohya
Naomi Shishido
Satoshi Watanabe

Kyoto Katsura Hospital

Atsushi Funatsu
Yoshifumi Hano
Hayato Ohno
Munemitsu Ohtagaki
Tadahisa Okada
Satoru Sasaki
Tomoko Tachi
Hideaki Takahashi

Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital

Yui Akatsu
Makoto Kawasaki
Koichi Kurata
Taisuke Miyamoto
Keiko Obu
Hironobu Ooya
Ayumi Sato
Yuki Yamada
Hiroshi Yamashita

Saitama Sekishinkai Hospital

Naomi Hagimoto
Mieko Ito
Hirokazu Kumada
Masayuki Sakurai (Tokyo General Hospital)
Tomokatsu Satomura
Daisuke Shimizu
Maiko Toma

Tokeidai Memorial Hospital

Nozomi Itabashi
Yusuke Kotani
Yuya Nakagawa
Kyoko Nomoto
Hiromi Nozaki
Wataru Sasaki
Michinao Tan
Naoko Yokoyama

Toyohashi Heart Center

Hiroshi Fujita (Nagoya City University)
Taku Ichihashi
Syunsuke Imai
Syuichi Ishizuka
Akiko Ito
Tsuyoshi Ito (Nagoya City University)
Euihong Ko (Japanese Red Cross Society Wakayama Medical Center)
Atsuko Kodama
Junko Kodama
Tairo Kurita (Nagai Hospital)
Hirotomo Sato
Kazuo Shimizu
Daisuke Yokota (Matsumoto Kyouritsu Hospital)

Venue

Hiroaki Fujie (Rakuwakai Marutamachi Hospital)
Kenji Goto (Fukuyama Cardiovascular Hospital)
Tatsuya Ito (Nagoya Heart Center)
Jun Kikuchi (Gifu Heart Center)
Osamu Matsuda (Nagoya Heart Center)
Tomohiko Teramoto (Toyohashi Heart Center)

We, the CCT Directors, would like to say special thanks to all the staff of above sites for contributing fantastic live demonstrations in Kobe.

Acknowledgements

CCT would like to express gratitude to the following partners.



■ **Diamond Supporter**

Abbott Vascular Japan Co., Ltd.



■ **Gold Supporters**

TERUMO CORPORATION
Boston Scientific Japan K.K.
Medtronic Japan Co., Ltd.
ASAHI INTECC CO.,LTD.
GOODMAN CO., LTD.



■ **Silver Supporters**

NIPRO CORPORATION
Johnson & Johnson K.K.
TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION
St. Jude Medical Japan Co., Ltd.
Volcano Japan Co., Ltd.



■ **Bronze Supporters**

SHIMADZU CORPORATION
OrbusNeich Medical K.K.
Biosensors Japan Co. Ltd.
Fukuda Denshi Co., Ltd.
Siemens Japan K.K.
Japan Lifeline Co., Ltd.
KANEKA MEDIX CORPORATION
MEDICO'S HIRATA INC. / Cook Japan Incorporated
MSD K.K.
Sanofi K.K.
DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED
Biotronic Japan
Philips Electronics Japan, Ltd.
MEDIKIT Co., Ltd.
TeraRecon, Inc.
Medicon, Inc.

ZEON MEDICAL INC.
SHEEN MAN CO., LTD.
DVx Inc.
Tokai Medical Products, Inc.
Nihon Medrad K.K.
Nexis Co., Ltd.
Photron Medical Imaging Inc.
GE Healthcare Japan Corporation
Covidien Japan Inc.
ASAHI INTECC J-sales, INC.
Astellas Pharma Inc.
AstraZeneca K.K.
KOWA PHARMACEUTICAL COMPANY LTD.
Takeda Pharmaceutical Company Limited.
Pfizer Japan Inc.



■ **Special thanks to**

CARDIOVASCULAR SUMMIT-TCTAP, Korea
China Interventional Therapeutics (CIT), People's Republic of China
ENCORE SEOUL, Korea
India Live, India
Japanese Bifurcation Club
J-WINC
National Interventional Council (NIC), India
Nonprofit Organization Nakanihon PCI society
SLENDER CLUB JAPAN
Taiwan Transcatheter Therapeutics (TTT), Taiwan, R.O.C.
Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention Conference (TOPIC)
The Federation of Pharmaceutical Manufacturers' Association of JAPAN

Live Case Transmission (Special Focus Live, Featured Live, Petit Focus Live) co-sponsored companies

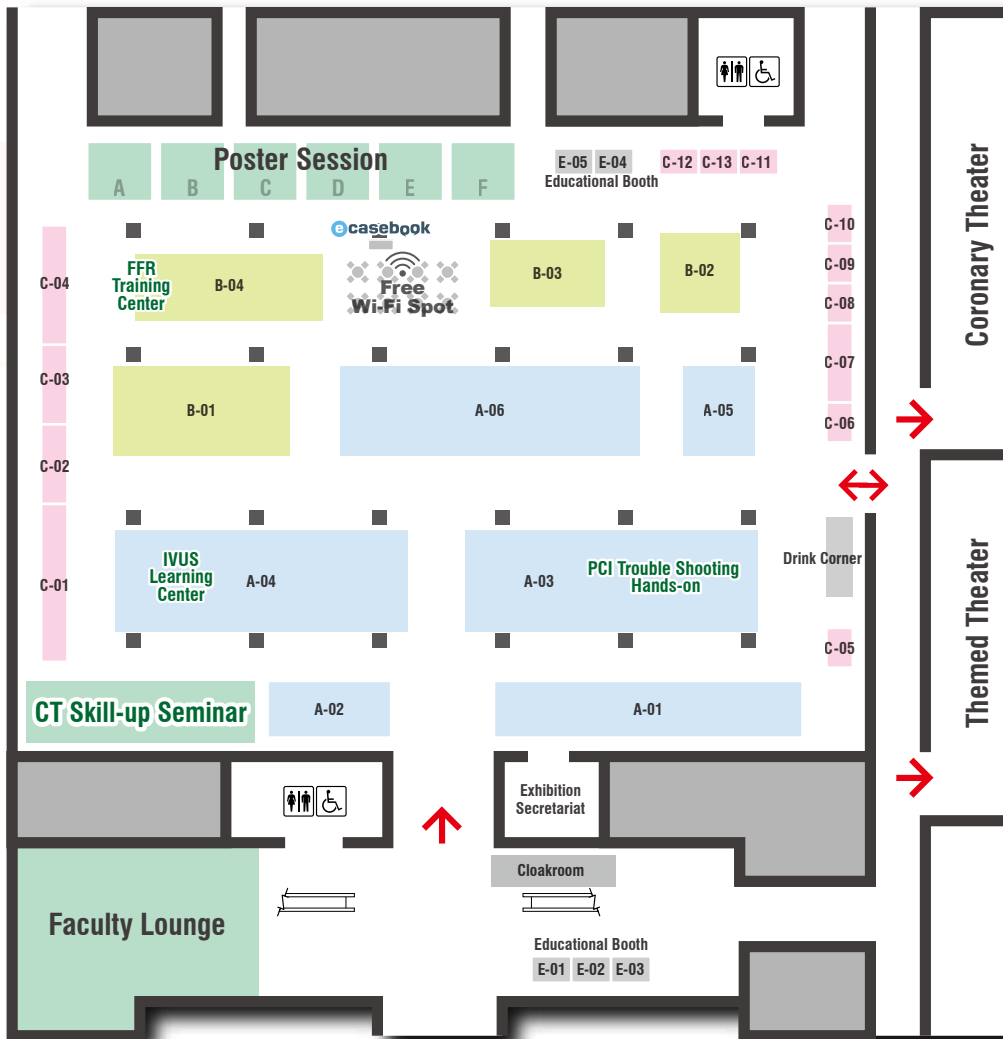
Abbott Vascular Japan Co., Ltd., ASAHI INTECC CO., LTD., Boston Scientific Japan K.K., Johnson & Johnson K.K., Japan Lifeline Co., Ltd., Medtronic Japan Co., Ltd., TERUMO CORPORATION, TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION

Exhibition Hall Map

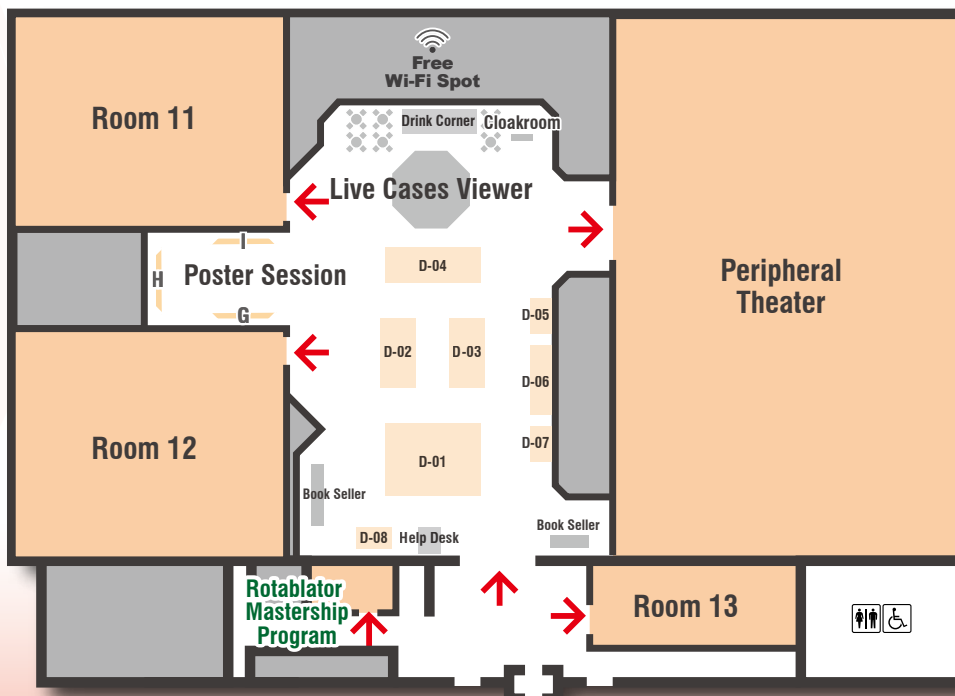
Booth No.

A-01	テルモ株式会社	TERUMO CORPORATION
A-02	株式会社島津製作所	SHIMADZU CORPORATION
A-03	アボット バスキュラー ジャパン株式会社	Abbott Vascular Japan Co., Ltd.
A-04	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	Boston Scientific Japan K.K.
A-05	オーバスネイチメディカル株式会社	OrbusNeich Medical K.K.
A-06	ニプロ株式会社/株式会社グッドマン	NIPRO CORPORATION / GOODMAN CO.,LTD.
B-01	日本メドトロニック株式会社	Medtronic Japan Co., Ltd.
B-02	ボルケーノ・ジャパン株式会社	Volcano Japan Co.,Ltd.
B-03	朝日インテック株式会社	ASAHI INTECC CO., LTD.
B-04	セント・ジュード・メディカル株式会社	St. Jude Medical Japan Co., Ltd.
C-01	フクダ電子株式会社	Fukuda Denshi Co., Ltd.
C-02	日本ライフライン株式会社	Japan Lifeline Co., Ltd.
C-03	株式会社カネカメディックス	KANEKA MEDIX CORPORATION
C-04	シーメンス・ジャパン株式会社	Siemens Japan K.K.
C-05	シーマン株式会社	SHEEN MAN CO., LTD.
C-06	日本バイオセンサーズ株式会社	Biosensors Japan Co., Ltd.
C-07	株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン	Philips Electronics Japan, Ltd.
C-08	ディーブイエックス株式会社	DVx Inc.
C-09	フォトン メディカル イメージング株式会社	Photoron Medical Imaging Inc.
C-10	株式会社ネクシス	Nexis Co., Ltd.
C-11	ゼオンメディカル株式会社	ZEON MEDICAL INC.
C-12	日本メドラッド株式会社	Nihon Medrad K.K.
C-13	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	GE Healthcare Japan Corporation
D-01	テルモ株式会社	TERUMO CORPORATION
D-02	株式会社メディコスヒラタ/Cook Japan 株式会社	Medico's Hirata Inc. / Cook Japan Incorporated
D-03	東芝メディカルシステムズ株式会社	TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION
D-04	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	Johnson & Johnson K.K.
D-05	メディキット株式会社	MEDIKIT Co., Ltd.
D-06	テラリコン・インコーポレイテッド	TeraRecon, Inc.
D-07	株式会社東海メディカルプロダクツ	Tokai Medical Products, Inc.
D-08	ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	Boston Scientific Japan K.K.
E-01	CARDIOVASCULAR SUMMIT-TCTAP	
E-02	TOPIC	
E-03	Slendar Club Japan	
E-04	Taiwan Transcatheter Therapeutics (TTT)	
E-05	Nonprofit Organization Nakanihon PCI society	特定非営利活動法人 中日本PCI研究会

Kobe International Exhibition Hall 1



Kobe International Exhibition Hall 3



Supervisory Directors

Yasushi Asakura

Kasai Shoikai Hospital

Tomoaki Hinohara

Sequoia Hospital

Keiichi Igarashi

Hokkaido Social Insurance Hospital

Osamu Katoh

Eisho Kyo

Kusatsu Heart Center

Satoru Otsuji

Higashi Takarazuka Satoh Hospital

Takahiko Suzuki

Toyohashi Heart Center

Etsuo Tsuchikane

Toyohashi Heart Center

Kinzo Ueda

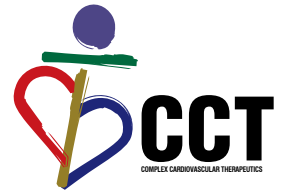
Rakuwakai Marutamachi Hospital

Kazushi Urasawa

Tokeidai Memorial Hospital

Masahisa Yamane

Saitama Sekishinkai Hospital



CCT 2014

Complex Cardiovascular Therapeutics 2014

Dates

Oct. 30 Thu. - **Nov. 1** Sat., 2014

Venue

Kobe International Exhibition Hall
Kobe, Japan

| **CCT Website** | <http://cct.gr.jp>

CCT Administration Office

1-1-5-2E, Maedaminami-machi, Toyohashi, Aichi 440-0851, Japan

TEL +81-(0)532-57-1275 FAX +81-(0)532-52-2883 E-mail secretariat@cct.gr.jp